

寒かった冬を越え、いよいよ桜の開花が待たれる頃となりました。一年で、ひとまわり成長した子どもたち、進級・就学への期待も高まります。立派になって、古淵保育園を巣立つ緑組さんの門出をみんなで心から祝したいですね。



## ◇2005年度二回目の名簿配布

2005年8月に保護者会入会者のクラス名簿をお配りしましたが、訂正や追加入会などもありましたので、3月13日に再度、配布しました。

記載事項の訂正などがありましたら、お知り合いの役員か、保護者会連絡先までご連絡ください。

## ◇もうすぐ卒園式！

緑組は、3月13日からお昼寝がなくなり、園での生活も残りわずかとなりました。

緑組保護者有志が中心となって、卒園の記念に、「アルバム作成」「卒園式での保護者からのほなむけの歌」「式の懇親会」について準備が進められています。

今年は、お別れ遠足に同行して、アルバム用の写真撮影も行われました。



例年いろいろな形でイベントが行われているので、今年から、準備に作成されたお知らせなどはファイルして残し、保護者会に託されます。来年度以降ぜひ参考にしてください。

## ◇クラスごとの懇談会

12月に園主催で開催されたクラス別懇談会の終了後に役員がよびかけ、そのまま部屋をお借りして話しをしたり、また、日曜日などに園外で交流を持ったクラスもありました。

ふだん、親どうしゆっくり話すことができないので、交流できてよかった、という感想が寄せられています。

主に桃組の懇談会から出された、「保育士の交代や日々勤務する保育士の名前が、もっと分かるようにしてほしい」「もう少し顔の大きいクラス写真が欲しい」などといった話は、園長先生にも相談し、来年度検討していただけることになりました。

保護者会への意見も多く寄せていただきました。「保護者会の交流会や、役員会にも参加してみたいけれど、なんとなく敷居が高く感じる」「夫婦で休日が合わないので、子どもの世話を頼めないあるいは、一緒に来たいけれど出席できない」というような声もありました。

保護者会では、交流会などイベントのときは保育グループを頼んだりしています。役員会のときはお互いに子どもを見守り合っています。参加はオープンにし、どなたでも歓迎します。子どものこと、自分のこと、仲間と気軽に話せるひとときの欲しい方は、ぜひご参加ください。

## ◇2006年度保護者会運営について

まだまだヨチヨチ歩きの保護者会ですが、来年は3年目を迎え、民営化後の法人選定など古淵保育園にとって大きな山場を迎えます。

保護者と保育園がつながり合い、力を合わせることで、子どもにとってよりよい保育環境づくりをつくっていきたいと思います。どうぞご協力をお願いします。特に下記二点、お願いします。

### ◆来年度の各クラスの世話人を募集

保護者会は皆さんの少しずつのご参加により運営しています。2ヶ月に1-2度の役員会はありませんが、役員会への参加が無理でも、メーリングリストや手紙のやり取りで、企画などにご参加ください。1クラス2~3名ご参加をお願いします。

### ◆保護者会へのご意見、アイデアを募集

来年度こんなことをやりたい、して欲しいなど、ご意見をお寄せください。

総会は5月中旬を予定しています。

## ◇給食試食会

古淵保育園初の試みとして、3月9日(木)に緑組保護者を対象にした試食会がおこなわれました。9名の保護者が参加し、いつも給食を作って

くださっている3名の給食の先生方、園長先生と担任の先生方と一緒に机を囲みました。

まずはトレーに子どもたちと同じように各自配膳し、カレーライス・海草サラダ・オレンジ・ミルクティーのケーキを頂きました。カレーはルーから手作りでとてもやさしい味、サラダのドレッシングもケーキも手作りで、こんなにおいしい給食を毎日食べている子どもたちがとても羨ましく思われました。



「本当は、幼児食の始まる桃組さんの保護者の方から始めたかったのですが、緑組さんは卒園を控えて日にちがないので、まず緑組の保護者を対象にしました」と園長先生のお話がありました。今後もぜひ続けて頂き、保護者の皆さんが「食育」について考えるきっかけになったらいいですね。

## ◇学習会報告

### 「保育園民営化で何が変わったの？」

1月15日(日)、橋本保育園(現在は民営化され「橋本りんご保育園」に改称)の元園長先生で現在は保育課主幹の中村俊子さんと、同じく市保育課主幹の石井賢之さんをお迎えして、橋本保育園が民営化されるまでの様子を伺いました。

参加15人。子どもたちは別室でバルーンアート作りを楽しみ、子どもより大きなピエロを作って保護者をびっくりさせてくれました。能勢園長先生と他園の保育士さんもお参加くださいました。

#### ◆中村俊子さんのお話(要旨)

##### 【相模原の公立保育】

中村先生は、保育需要が高まってきた1973年から相模原市の保育士として勤務。当時は毎年二園ずつ増加していた時代。その後、保育の質の追求と共に施設改修が行われる中で、幼児クラスの教室型からオープンスタイルへの移行(古淵保育園は最初のモデル)、クラス定員制をとらない、必要度の高い保育、朝夕の保育も必ず常勤職員を入れるなど、質の高さを追求してきた。

##### 【民営化計画の中で】

2002年2月13日の橋本保育園の民営化が発表された日は、忘れられない日。自分達が築いてきた保育を民営化することへの職員としてのとまどいは大きかったが、市の職員として計画を受け入

れざるを得なかった。その中で自分達が築いてきた保育を新しく運営する法人にどう伝えるのか、子どもと保護者がとまどわないようにと、職員でプロジェクトを作り『新たな一歩へ 橋本保育園の保育』という冊子で橋本保育園が大切にしてきたことをまとめ、法人選考の際にも参考にしてもらった。民営化という経験により、職員が自身の保育を見直し、新たな法人からも多くを学んだと思う。

##### 【引継ぎ保育】

選考委員会で決定された法人が既に運営する保育園を園長や副園長、クラス担当保育士数人も見学、子どもたちの人なつこい様子と保育の質の高さに安心した。市の予算では引継ぎ保育は1~3月を想定していたが、法人側が自発的に前年の9月から数名着任。運動会などの行事にも参加。公立園の保育士と民営化後に運営する法人の職員が混在する中で、毎日、今日はどういう職員がいるのか顔写真と一緒に掲示したり名札の工夫をした。子どもと保護者には毎日法人職員を紹介し、法人の職員には、子ども一人ひとりのことを、丁寧に伝えていった。

##### 【民営化にあたって】

民営化するにあたってのアドバイス。保護者は多くの意見を出し合うこと、保育士は今以上に質をあげ・アンテナを張り子どもや保護者の声をキャッチすること、保育行政は多くの情報提供をすること、そして民営化という経験を一緒になって、保育の質向上に活かせるようにすること。

#### ◆古淵保育園の法人選定について

2010年4月から新たに運営する法人の選定委員会は、2006年の秋頃から始動するとのこと。石井主幹からは、公募法人枠について保護者からの意見を尊重すること、そして法人選定委員会にも保護者参加が可能な旨をお話いただきました。また、今後も保護者と連携してすすめていくことを約束してくださいました。

## ◇役員会日程

次回保護者役員会は4月9日(日曜日)10:00-12:00 大野中公民館(予定)です。どなたでもご自由にご参加ください。

役員会で検討して欲しい内容などありましたら、お気軽にご連絡ください。

